

科目区分	専門分野 I	科目名	日常生活援助技術 I (活動・休息)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第1学期
担当講師	大倉 令 (臨床経験7年、教育経験1年)				
科目目標	活動と休息の日常生活援助技術を習得する。				
<b>授業概要</b>					
第1回	<b>基本的活動の基礎知識 姿勢・活動の意義と効果</b> (講義)				
	1. 活動と運動(活動と運動の意義、活動がもたらす身体への影響、ADLとIADL) 2. 姿勢の種類と特徴(姿勢の定義、良肢位)				
第2回	<b>睡眠・覚醒の意義と援助(休息と睡眠の意義、睡眠の基礎知識、休息と睡眠を促す援助)</b> (講義)				
第3回	<b>ボディメカニクスと体位、体位変換</b> (講義)				
	1. ボディメカニクス 1) ボディメカニクスとは 2) 安定した作業姿勢 3) ボディメカニクス技術の原則 2. 安全安楽な体位 1) 体位の種類と特徴 2) 体位が身体に与える影響 3) 同一体位による弊害 3. 安楽を確保するための援助 1) ポジショニング 2) 体位変換の方法				
第4回	<b>安楽な体位・体位変換の実際</b> (演習)				
	ポジショニング、仰臥位から側臥位への体位変換				
第5回	<b>移動・移乗の方法</b> (講義)				
	1. 移動動作 1) 歩行介助の基本 2) 歩行器の種類と使い方 3) 杖と松葉杖の使い方 2. 車椅子移乗と移送 1) 車椅子の構造 2) 以上と移送時の原則 3) 端座位から車椅子への移乗 3. ストレッチャー移乗と移送 1) ストレッチャーの構造 2) 移乗と移送時の原則				
第6回	<b>移動の実際</b> (演習)				
	水平移動、仰臥位から長座位、長座位から端座位				
第7回	<b>移動の実際</b> (演習)				
	車椅子とストレッチャーへの移乗、移送				
第8回	<b>終了試験</b>				
<b>看護師国家試験出題基準</b>					
活動と運動の意義、活動と運動に影響する因子、活動と運動のアセスメント、活動と運動を促す援助、体位、体位変換、移動移送、ボディメカニクス、休息と睡眠の意義、休息と睡眠に影響する因子、休息と睡眠のアセスメント、休息と睡眠を促す援助					
<b>授業の進め方</b>					
形態と機能、疾病・治療論、栄養学の学習内容を想起しながら授業に臨む。 看護技術は、デモンストレーションやDVDの視聴によりイメージ化する。 車椅子移乗の実際については、授業の前に学生がテキスト等を参考にして、移乗技術を練習してから授業に臨む。 学生間による模擬患者体験を通して、援助を受ける患者の心理を知り、援助に活かすことができるようにする。 実技試験までに、技術練習を十分実施して技術習得状況を教員に報告し、不十分な部分は事前に指導を受ける。					
<b>履修のポイント・留意事項</b>					
援助を行う根拠を明確にし、原理原則に基づいた援助を習得する。 ボディメカニクスを活かし、安全・安楽に配慮した援助が行えるようにする。					
<b>テキスト</b>					
系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社					
<b>評価方法・配点</b>					
課題レポート、授業態度(演習参加度)、科目終了試験(80%)、技術試験:車椅子移乗(20%)で評価する。					